

【 学 校 の 沿 革 概 要 】

- 明治 6年 9月 上司小学校と称し、住吉神社掌下倉静海氏宅で開校
25年10月 栗田村立第一小学校と改称、田井分校を栗田村立第二小学校と改称
- 昭和 6年10月 現在地に校舎新築
16年 4月 栗田国民学校と改称
19年10月 高等科男女学徒動員に出動 海軍砲術学校に校舎の一部を貸与
22年 4月 新学制となり、栗田小学校と改称
29年 6月 市制生誕により、宮津市立栗田小学校と改称
43年 5月 田井分校校舎全面改築
55年 3月 栗田小学校全面改築
56年10月 テルレイ・ピーチ一行本校訪問
61年 4月 京都府教育委員会委嘱「道徳教育」研究実践校
- 平成 3年 4月 平成3・4年度京都府ふるさと交流学習促進事業研究指定校
平成3・4年度京都府・宮津市補習学級開設事業指定校
4月 田井分校廃校
9年 4月 京都府教育委員会より教育実践パイロット校「社会科」研究指定校
10年11月 教育実践パイロット校社会科研究発表会
12年 4月 「栗田海づくり少年団」を結成する。
13年 9月 「ふるさと海づくり大会」（養老）に参加する。
14年 4月 京都府教育委員会指定「地域ふれあい体験活動」推進校
7月 「ふるさと海づくり大会」（宮津）に参加する。
11月 「地域ふれあい体験活動フォーラム」で中間発表をする。
15年11月 「地域ふれあい体験活動フォーラム」で本発表をする。
16年 4月 京都府小学校教育研究会「総合的な学習」教育研究協力校
5月 校門前の道路拡幅（校門扉完成、池の移設）
17年10月 京都府小学校教育研究会「総合的な学習の時間」研究協力校中間発表会
18年10月 京都府小学校教育研究会「総合的な学習の時間」研究協力校研究発表会
19年 2月 文部科学省主催「全国小・中・高等学校『総合的な学習の時間』
研究協議会にて発表
19・20年 文部科学省「小中高連携豊かな体験活動推進事業」指定校
21年12月 文部科学省・宮津市教育委員会「食育」実践中心校研究発表
22年 4月 文部科学省・宮津市教育委員会「食育」実践中心校
23年11月 文部科学省・宮津市教育委員会「食育」実践中心校研究発表
25年 4月 宮津市立由良小学校と統合 図工室新設
26年度～28年度 京都府小学校教育研究会「生活科」研究協力校
27年10月 京都府小学校教育研究会「生活科」研究協力校・2年次研究協議会
28年11月 京都府小学校教育研究会「生活科」研究協力校研究発表会をする。
30年 4月 「栗田学院」栗田小学校として、小中一貫教育試行を行う。
31年 4月 「栗田学院」栗田小学校として、小中一貫教育本格実施。
- 令和 2年 4月 「栗田学院」学校運営協議会（コミュニティスクール）本格導入となる。
3年 4月 児童用1人1台タブレット端末が運用開始となる。